

電動アシスト自転車 エアロアシスタント  
メンテナンスマニュアル

---





---

01	【作業内容】 リヤホイール (車輪) の取り外し (タイヤ交換)	1-4
02	【作業内容】 後輪の返品	5-10
03	【確認事項】 バッテリー差込口端子確認	11
04	【確認事項】 SWボックス内、配線等異常確認	12
05	【確認事項】 コネクター確認	13-15
06	電源が入らない場合の対処法	16

---

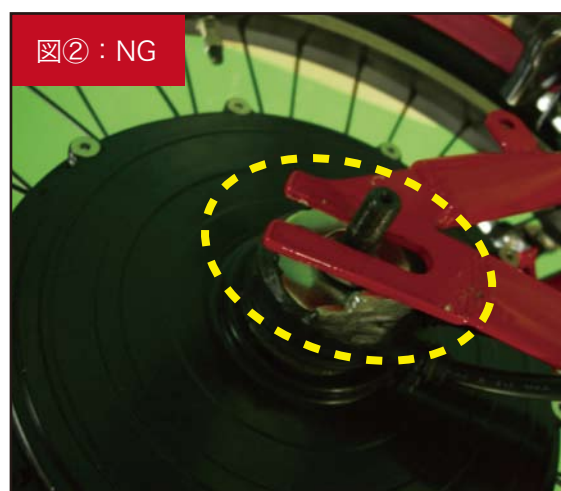
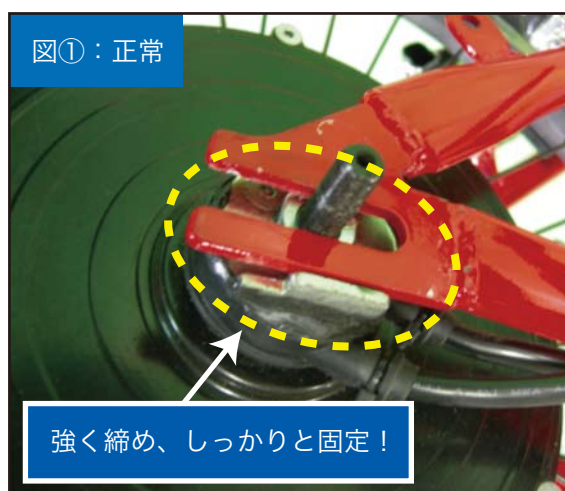
**重要** まずはご注意ください！

取り付ける際は、下記事項に気をつけてください。

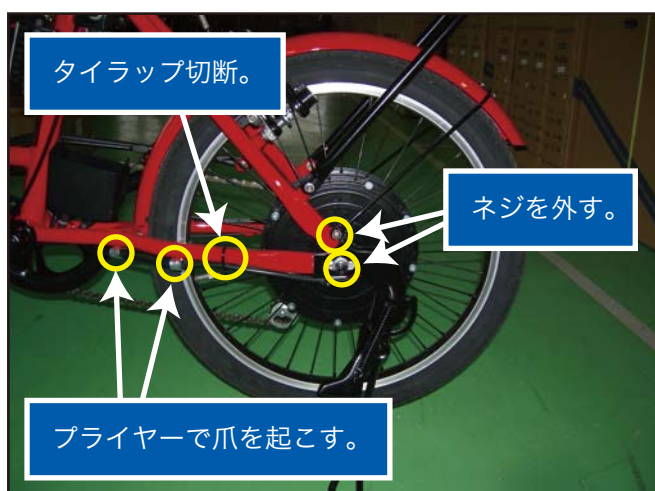
回り止め金具の位置が下記図①にあるのが、正常です。

取り付けの際は、チェーンステイに回り止め金具がかかるようお願い致します。

回り止め金具が正常に取り付けされていない場合は、走行中に共回りしてしまい、断線などの故障の原因になります。



## 1. 加工ポイント

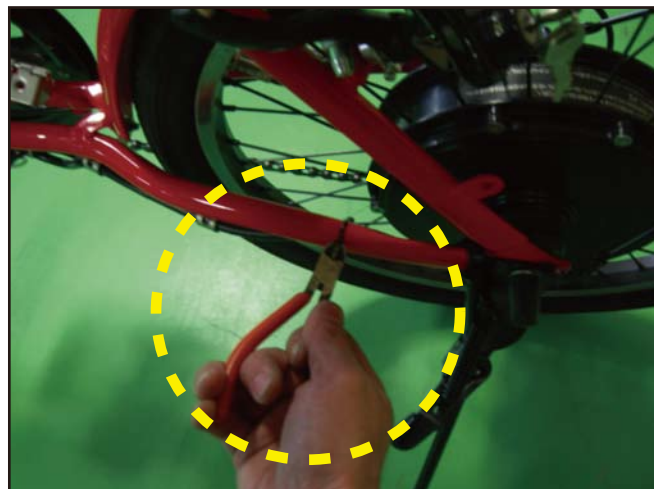


シフトレバー(変換レバー)をトップ(TB-206系は6、TB-207系は7)に入れて、クランクを前に1回転させると後の作業が楽です。

2. リアブレーキを開放する。  
ブレーキアーチを両サイドから挟んで  
インナーリードを外側に引いて外す。



3. タイラップを切断する。



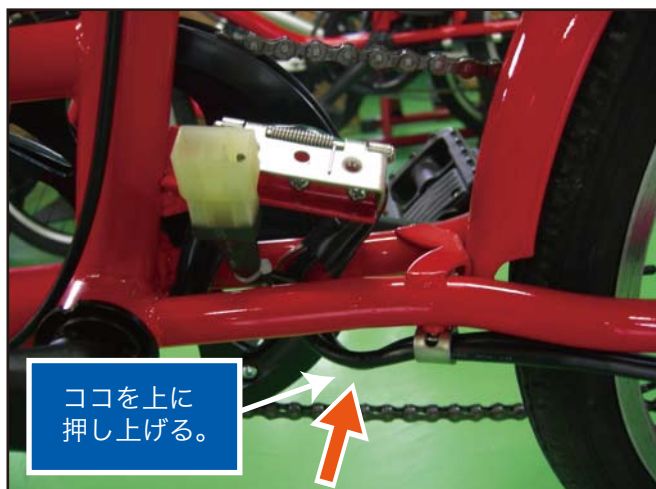
4. バッテリーホルダーを外す。



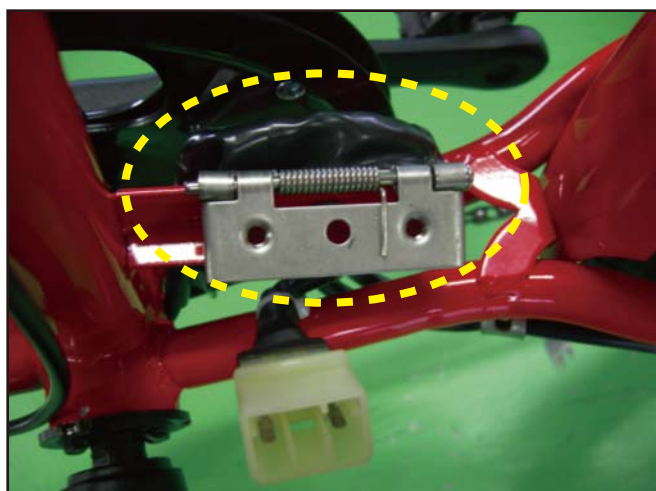
5. バッテリーホルダーからコネクターを外す。



## 6. ハーネス取り外し。



## 上記作業前



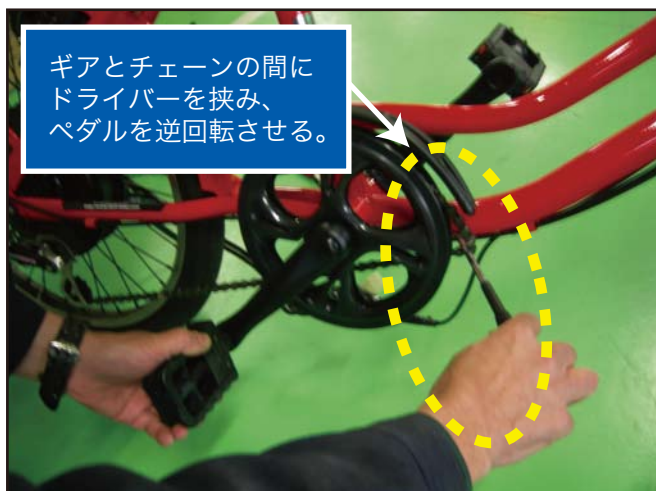
## 7. 金具の爪を起こす。



## 8. ここまでの作業を終えた外観。



9. チェーンを外す。



10. 泥除けステイのネジを外す。(両側)



11. ボルトを外す。(両側)  
※時計と逆方向に緩めて下さい。



12. 自転車を逆さに立てる。

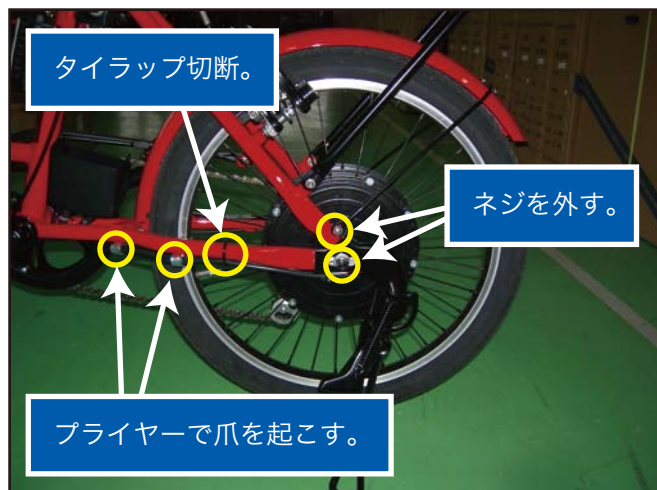


13. 断線に注意し、ゆっくりと後輪を後に外す。



故障等によりモーターを送る場合、下記の要領で後輪を外し、返送してください。

## 1. 加工ポイント

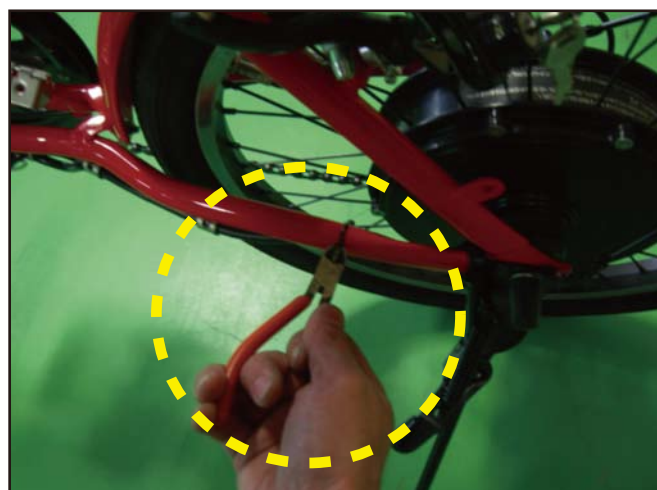


シフトレバー(変換レバー)をトップ(TB-206系は6、TB-207系は7)に入れて、クランクを前に1回転させると後の作業が楽です。

2. リアブレーキを開放する。  
ブレーキアーチを両サイドから挟んで  
インナーリードを外側に引いて外す。



3. タイラップを切断する。



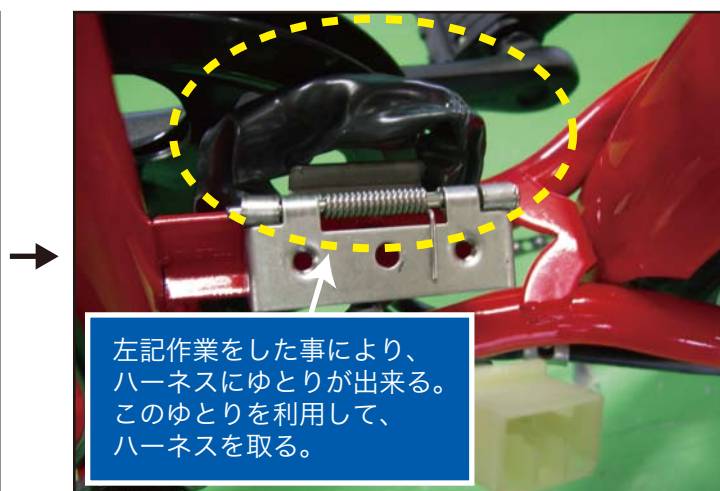
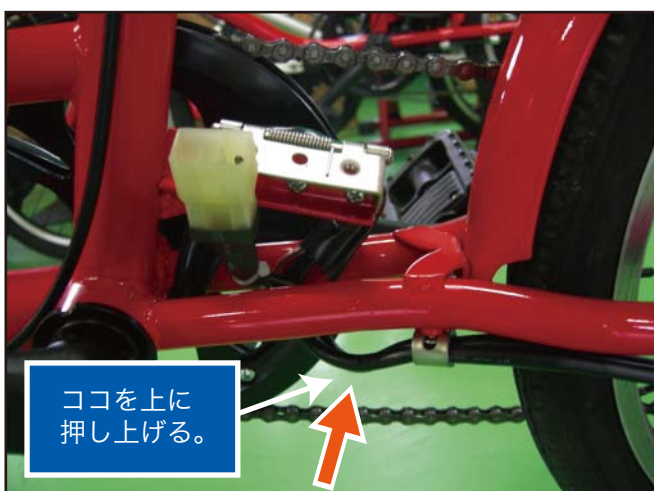
## 4. バッテリーホルダーを外す。



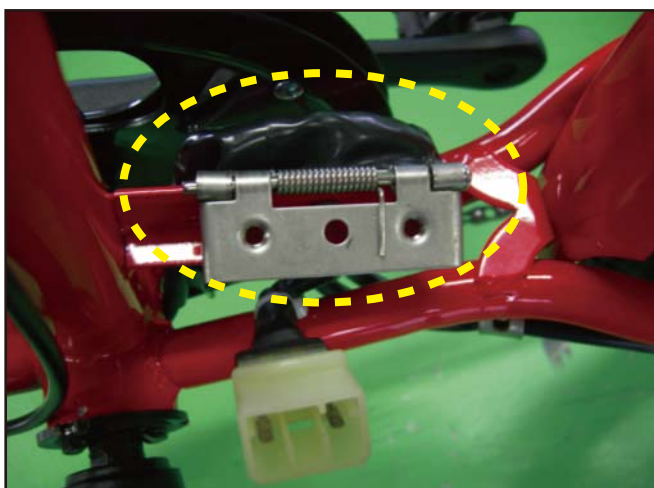
## 5. バッテリーホルダーからコネクターを外す。



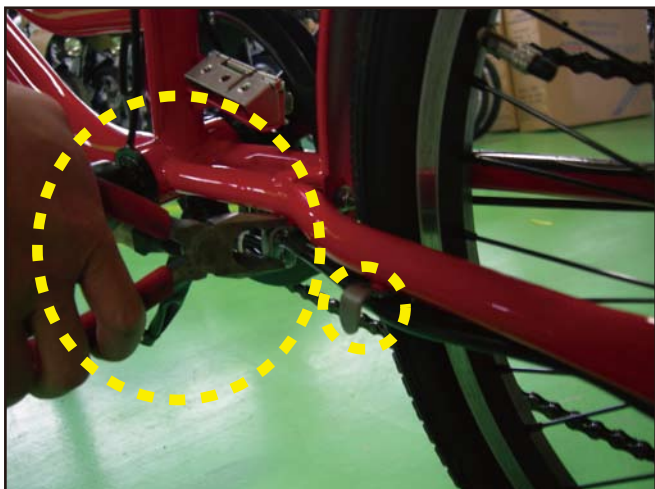
## 6. ハーネス取り外し。



上記作業前



7. 金具の爪を起こす。



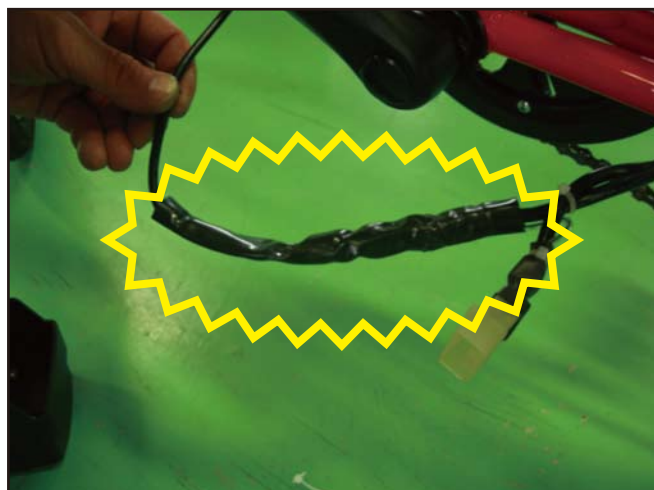
8. ここまでの作業を終えた外観。



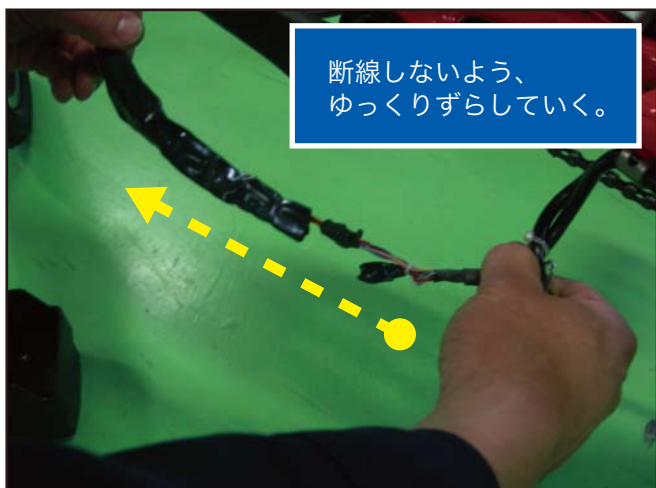
9. 2箇所のタイラップを切断する。



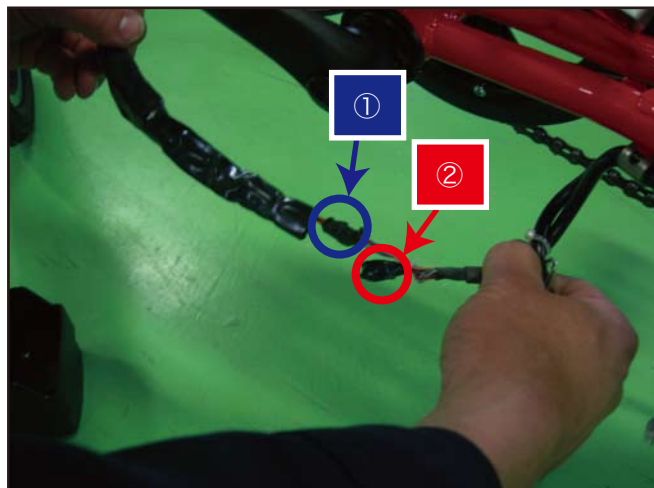
10. チューブ全体を揉み解してください。



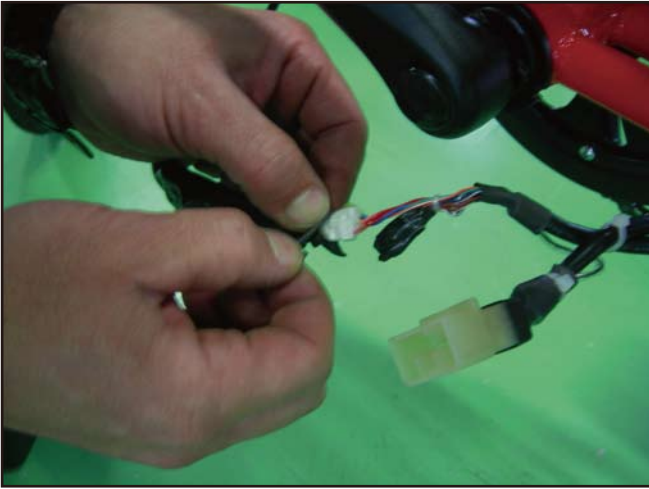
11. ゆっくりとチューブを前輪側へずらしてください。



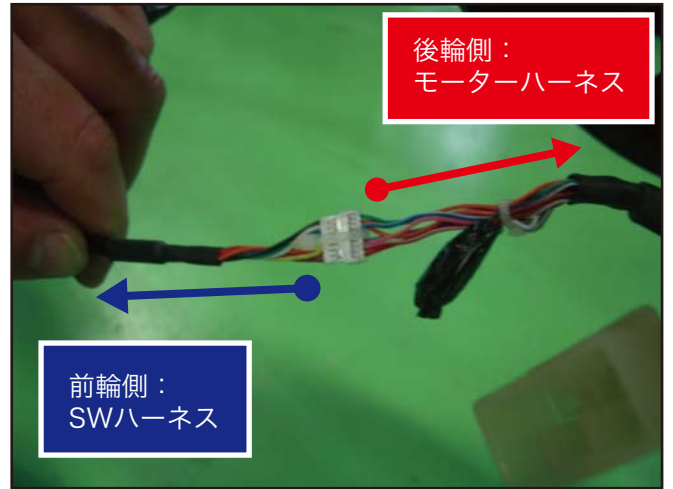
12. 黒いテープに巻かれた①②があります。



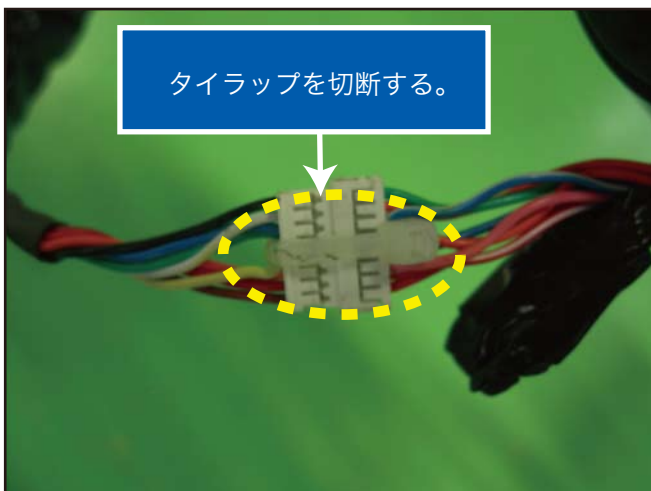
13. 12番図の①の黒いテープを手で丁寧に剥がす。



14. コネクターが出てきます。



15. タイラップを切断し、コネクターを外す。



16. チェーンを外す。



17. 泥除けステイのネジを外す。(両側)



18. ボルトを外す。(両側)



19. 自転車を逆さに立てる。



20. 断線に注意し、ゆっくりと後輪を後に外す。



21. 取り外した後輪タイヤの外観。  
次に後輪タイヤからフリーホイールを外していく。



22. ナットを外す。



23. ギア外しの工具を使う。  
(下記画像：TL-FW30 FREE WHEEL)



24. 23の工具を下記のようにセットする。



25. モンキー等を使い、ギアを外す。

※時計と逆方向に緩めて下さい。



26. ギア取り外し完了。



### 注意

- 【重要】 1.** 注意：取り外したフリーホイールは必ずその自転車とセットにして保管下さい。  
ギャランク・チェーン・フリーホイールは同じように金属摩耗しますので、製品番号が同じであっても、各個人の乗り方や総乗車時間によって摩耗度合いが違い、組み付けた時に相性が悪く踏み込んだ時にチェーンが歯飛びします。
- 【重要】 2.** フリーホイールの取付には、工具を差し込んでからホイールに装着して下さい。  
装着の角度を少しでもずれて取り付けてしまった場合、そのリアホイールは修正不可能になります。

後輪の返品において、フリーの取り外しを説明図のみで、一般の人に脱着をさせるのは非常にリスクな事が、上記の1,2で考えられます。

1. コネクタの差込は正常かチェックしてください。

正常品



図1

異常品



図2

※上記のように、バッテリーコネクタが正常な位置まで押し込まれているか確認してください。



図3

※左記図のような状態ですと、バッテリーが端子に届かず、電源が入らない等の症状が発生する可能性があります。

1. SWを車体から取り外し、背面の2本のネジを外す。



図4

2. カバーを外し、SW内の配線を確認する。



図5

## 1. バッテリーホルダーを外す。



図6

## 2. バッテリーホルダーからコネクターを外す。



図7

## 3. ハーネス取り外し。

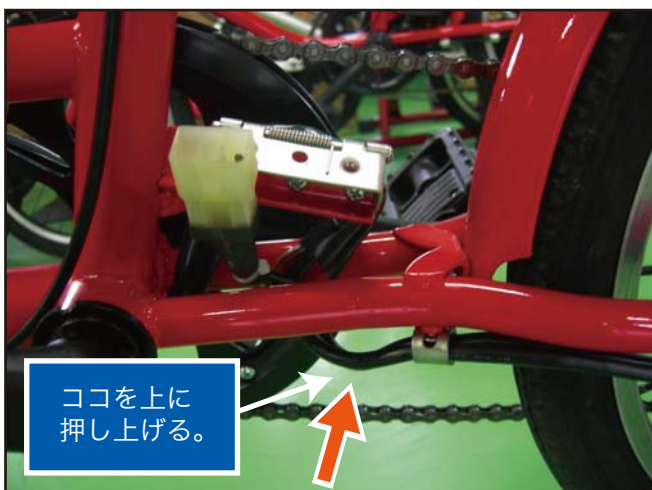


図8



図9

上記作業前

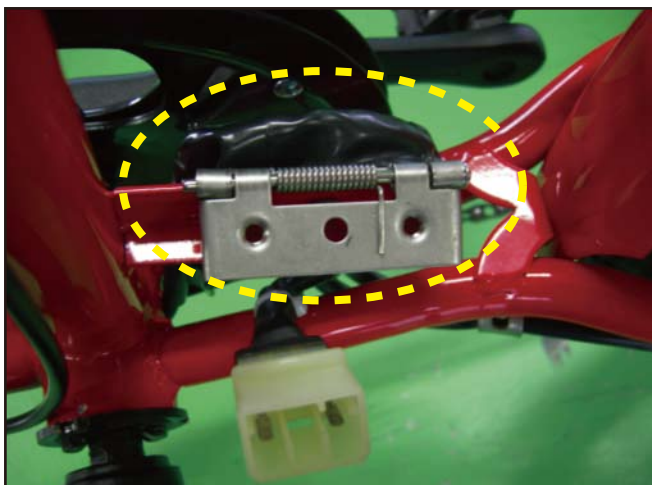
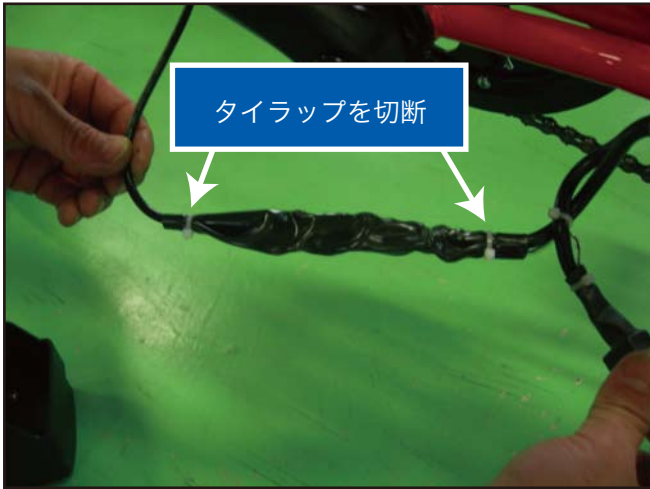
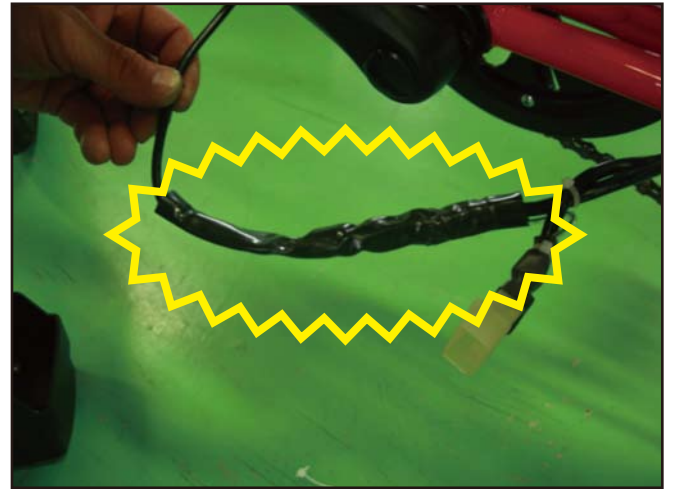


図10

4. 2箇所のタイラップを切断する。  
※チューブを切らないよう、ニッパにて切断する。



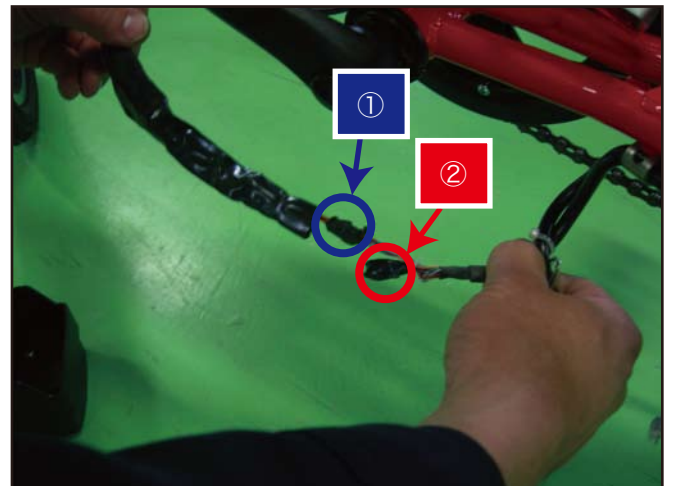
5. チューブ全体を揉み解してください。



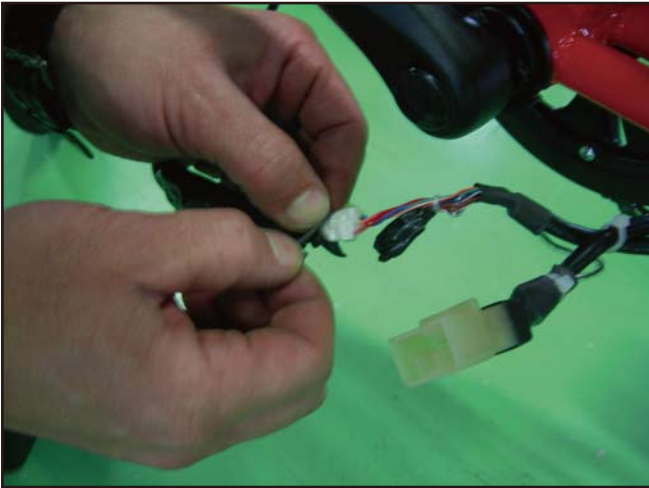
6. ゆっくりとチューブを前輪側へずらしてください。



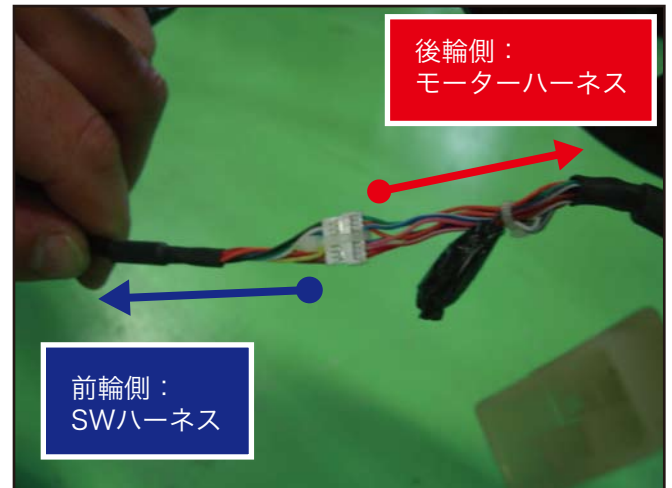
7. 黒いテープに巻かれた①②があります。



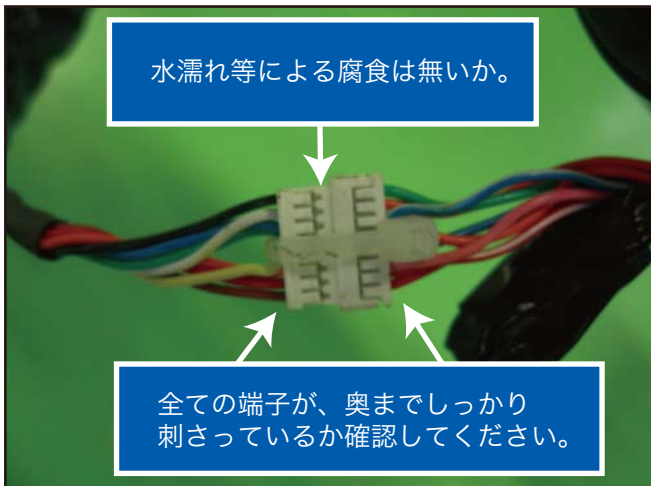
8. 7番図の①の黒いテープを手で丁寧に剥がす。  
その下のメンディングテープ（セロテープのようなもの）をめくってはがす。



9. コネクタが出てきます。



10. コネクタに腐食、端子外れ等が無い  
か確認してください。



1. バッテリー本体の異常を疑う。
2. バッテリー差込口の端子に異常が無いか確認する。 . . . . . 【P.11 図1,2,3参照】  
(端子が、正常な位置まで差し込まれているか。端子の長さは均一か?)
3. SWボックス内の配線に断線等の異常は無いか? . . . . . 【P.12 図4,5参照】
4. バッテリーBOX下のコネクタに異常は無いか? . . . . . 【P.13参照】